

令和7年度
北海道大学工学部
編入学試験（特別選抜）

【小論文】

（環境社会工学科 建築都市コース）

試験時間 9:00～11:00

- ・ 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、黒の鉛筆、黒のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、眼鏡、時計（計時機能のみ有するもの）のみです。
- ・ これ以外のものを試験時間中、机の上に置いてはいけません。
- ・ 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類、及び時計のアラームは、試験時間中、使用してはいけません。
これらの電子機器類は、あらかじめアラームの設定を解除して電源を切り、かばん等に入れなさい。

注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は、このページを含めて3ページあります。
3. 解答用紙は「小論文1／3」から「小論文3／3」までの3枚、
草案用紙は3枚あります。
4. 受験番号は、監督員の指示に従って、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。なお、裏面を使用してはいけません。
6. 必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
7. 解答用紙は3枚とも全部必ず提出しなさい。
8. 問題紙の余白は下書きに使用しても差し支えありません。
9. この問題紙と草案用紙は回収しません。

令和7年度
北海道大学工学部
編入学試験（特別選抜）

【小 論 文】

（環境社会工学科 建築都市コース）

令和7年度北海道大学工学部編入学試験（特別選抜）問題【小論文】
（環境社会工学科 建築都市コース）

下記の3つの設問のすべてに答えよ。

問1

興味のある建築物2つをとりあげ、それぞれの建築物の特徴を、意匠、計画、構造、環境・設備、材料、防災などの観点から、あなたの考えを具体的に述べなさい。また、その建築物を選択した理由についても説明しなさい。

問2

労働者不足、働き方改革など、最近になって、勤労のあり方が、従来からは大きく変わっていくことが報道されています。このような状況を踏まえて、建築分野の仕事に与える影響についてあなたの考えを具体的に述べなさい。

問3

わが国では、カーボンニュートラル性の観点から、高層建築物用の構造用材料として、木材を積極的に活用していく試みが進みつつある。建築分野において、カーボンニュートラル性に貢献できる対策について、木材に関すること以外で、あなたの考えを具体的に述べなさい。